



市民オペラ「フィガロの結婚」(県文化会館)

## 第1回 定例会のあらまし

平成9年第1回定例会が、2月25日から3月19日までの23日間の日程で開かれました。  
この定例会では、平成9年度予算および条例の一部改正など市長提出議案66件を審議し、すべて原案どおり可決・同意しました。さらに、議員提出議案2件、意見書13件、請願2件を審議したほか、各会派の代表質疑が7名の議員により行われました。  
なお、平成9年度予算案については、全議員で構成する予算審査特別委員会を設置し、審査しました。

### 《予算》

#### 平成9年度各会計予算

平成9年度予算は、第6次5か年計画の「市民文化都市」「健康福祉都市」「国際交流都市」「産業創生都市」「快適居住都市」の5つの都市像に基づき、保健・医療・福祉などのソフト面の施策の拡充、道路・公園・排水など生活関連施設の整備、街路・都市モノレール・市街地再開発などの都市基盤整備、防災対策の充実・強化などを図るほか、景気の回復に考慮し、公共事業の確保と中小企業への金融支援策の拡充など地域経済の活性化を図るため、前年度と比較して0.2%増の総額五千九百八十六億七千万円となりました。このうち、一般会計予算は、前年度と比較して2.7%増の三千三百四十七億二千万円に、特別会計(企業会計を含む18会計)は、2.9%減の二千六百三十九億五千万円になりました。

#### 平成8年度一般会計補正予算

道路整備事業費、土地区画整理事業費、財政調整基金などの各種基金への積立金など、十九億七千六百万円を追加しました。

これにより一般会計の予算総額は、三千三百八十八億四千三百万円になりました。

#### 平成8年度特別会計補正予算

千葉市公共用地取得事業特別会計など7事業会計で、合わせて二億七千万円を減額しました。

これにより特別会計の予算総額は、二千七百四十億二千万円になりました。

### 《条例》

#### 千葉市自転車等の放置防止に関する条例の一部改正

新たに自転車駐車場の一時利用制度を導入するため、条例の一部を改正します。

#### 千葉市消費者保護条例の一部改正

食品の表示基準を変更し、危険防止のための適正表示を義務付けるため、条例の一部を改正します。

#### 千葉市市民プラザ設置管理条例の一部改正

新たに千葉市長沼原勤労市民プラザを稲毛区長沼原町に設置するなど、条例の一部を改正します。

#### 乳幼児の医療費の助成に関する条例の一部改正

乳幼児の医療費の助成の範囲を拡大するため、条例の一部を改正します。

#### 千葉市身体障害児福祉手当支給条例等の一部改正

身体障害児、精神薄弱児童、ねたきり老人、痴呆性老人、心身障害者の福祉手当の額を七百八十円引き上げ、月額一万四千七十円にするため、条例の一部を改正します。

#### 千葉市立小学校設置条例の一部改正

新たに金沢小学校、あすみが丘小学校、扇田小学校、有吉中学校を4月1日に開校するなど、条例の一部を改正します。

#### 千葉市立図書館設置条例の一部改正

4月17日オープン北部図書館を、小中台小学校内から改築した現在の位置に変更するため、条例の一部を改正します。

#### 千葉市下水道条例の一部改正

消費税率の改定や地方消費税の導入に伴い、使用料の額を改定するなど、条例の一部を改正します。

## 9年度予算は総額5,986億7千万円に

### 可決した 主な議案



市民自由クラブ

地域防災計画の見直しについて

Q 地域防災計画の見直しの進捗状況はどのようになっているか。また、見直しの主な点はどのようになっているか。

A 計画の見直しについては、阪神・淡路大震災と同規模の直下型地震が発生した場合を想定し、庁内各部およびライブラリーなどの防災関係機関と協議を進め、調査機関の提言を聴取しながら災害応急対策を重点に見直しを進めてきた。今後は、県の防災計画との事前協議や、千葉市防災会議の開催など必要な手続きを経て、できるだけ早い時期に取りまとめたい。

次に、見直しの主な点については、災害発生時の応急活動体制や情報の収集・伝達体制、さらには、救急救護体制の充実、強化を図るほか、高齢者・障害者などの要援護者対策や、大災害時における応援要請計画、ボランティア活動の協力などの新たな項目について検討をし、防災対策の充実・強化に努めたい。

市立病院の建て替えについて

Q 現在、市立病院の基本計画の策定を進めており、



市立病院

Q 新しい市立病院について、老人性痴呆疾患センターの設置、リハビリテーション機能の充実を図ることなどにより、高齢化に対応した診療機能の拡充を願うほか、救急医療、精神医療、緩和ケア、感染症など、高度特殊医療の拡充を図りたいと考えている。

また、規模などについては、概ね300床程度とし、災害時における拠点としての機能を整えるため、建物の免震構造、非常用給水設備の導入や、ヘリポートの設置などを考えている。



3月3日(市民自由クラブ・市政会)、4日(民主新政クラブ・日本共産党千葉市議会議員団・千葉市議会公明)、5日(市民クラブ・市民ネットワーク)の3日間にわたり、7会派の代表から平成9年度予算案などについて質疑が行われました。

市民クラブ

市庁舎建て替えについて

Q 財政緊縮の中で、使用料などの値上げや事務事業の削減を図るなど、市民サービスに支障をきたさないよう、市庁舎建て替えのために、続けて10億円を積み立てたいという意向は反対であるが、所見を伺う。

A 現庁舎は、27年が経過し、狭小・分散化の状況にあり、行政サービスや効率的な事務執行に支障をきたしている。また、市民の生命・財産を守る防災拠点としての使命を持っているので、大地震にも耐えられる庁舎が求められている。

庁舎整備には多額の財源や、整備に時間を要することなどから、計画的な対応が必要である。このようなことから、市庁舎整備の円滑な推進と財源確保のために、計画的に市庁舎整備基金を積み立てていくことが必要である。

行政改革について

Q 外郭団体の数は毎年増加しているが、派遣やプロパーの職員は着実に増え、千葉市の職員数は実質的には増えている。職員数を増やさないで、行政

改革を実行していると言っているが、実数削減の伴わない行政改革は、本当に行政改革といえるのかを伺う。



市庁舎

A 外郭団体は、増大する市民サービスを効率的に実施するために、多種多様な市民サービスを目的として設立運営されている。外郭団体の運営にあたっては、効率的な運営を念頭に最小限の人員により行っている。

また、市民生活向上のため新たな行政サービスに伴い必要となる人員については、既存の事務事業の見直し等を行うことにより、安易に増員せず対応したものであり、行政改革の趣旨に沿ったものと考えている。

市政会

地方分権について

Q 地方分権の推進は最も重要な改革であり、これにより権限や財源が得られ、地域に密着した、きめ細かな市民サービスが可能となる。そこで、今後の地方分権の動向と、本市の取組について伺う。

A 政令市は共同して、地方分権推進委員会や、政府関係省庁に対し、「政令指定都市には道府県と同様の権限と財源の移譲が図られるべき」との要望活動を積極的に進めており、6月に予定の第2次勧告に向けても、意見書を取りまとめることとしている。本市は、行政改革推進委員会の中に地方分権検討部会を設置し、最新の情報交換や協議を行い、各行政分野ごとに権限移譲が必要な項目

代表質疑から

日本共産党千葉市議会議員団

市民生活優先の予算への組み替えについて

Q 新年度予算は、財政危機の原因を取り除き、市民の要望に心を配る編成としなければならないが、予算には千葉駅西口再開発や中央港地区区画整理などの大型プロジェクトが組み込まれており、このうち東結や見直し、中止するなど市民生活優先の予算に組み替えを求めるとか。

乳幼児医療費の無料化について

Q 乳幼児医療費の助成が拡大され、0歳児と1歳児の所得制限が外され、2歳未満児全員が無料になった。



市立病院での診察風景

A 新年度予算は、限られた財源の中で、下水道の整備、市立病院の改築、福祉の充実、ごみの適正処理対策など市民生活にかかわりの深い施策の推進や、地震・防災対策、少子・高齢化対策などを盛り込むなど、市民生活の質的な充実を図ることとしており、市民の要望に応えた予算である。大型プロジェクトについても、業務核都市として市民の就業の場の創出など計画的に推進を図る必要があると伺っている。

市民ネットワーク

情報公開について

Q 昨年の仙台地裁や、今年浦和地裁、東京高裁の食糧費に関して全面公開を命じた判決をどう受けとめ、市としては今後も部分公開でいくのかを伺う。

A 二百万円の閲覧手数料は廃止すべきと考えられるその見解と、国の情報公開法要綱案を尊重した条例改正の計画を具体的に伺う。

また、市の公共工事から出る残土の現状と今後の対策、リサイクル残土使用の計画について伺う。

環境学習について

Q 地球環境問題について、小さい頃から関心を持つ子供たちに環境学習を受講させることは大切なことだと認識している。そこで、今後の環境学習の推進と環境教育への支援について伺う。

A 環境学習講座は、従来より市民・教員を対象とした指導者養成講座を実施してきた。平成8年度からは小学校4・6年生を対象とした「自然体験宿泊泊コース」を設け、指導者養成講座終了者にも、子供たちの指導・相談などの協力を受ける事業を進めている。また、「環境学習モデル校」を各区分に指定し、子供達が教育の場で環境保全活動に取り組めるよう活動の促進を図る。今後は、これらの施策のほか、引き続き学習機会の提供、教材づくりなど環境学習の基盤づくりや推進体制の整備に努め、学校・地域・企業・各種団体など連携を図りながら各種の施策を総合的に推進していく。



昭和の森での環境学習

千葉市議会公明

平和事業について

Q 戦争の悲惨さと平和の尊さを後世に伝えていくことは重要であり、平和事業の展開にあたっては、しっかりとした指針を持つことが必要である。

A 平和事業は、「平和都市宣言」の趣旨に沿い、「戦争への脅威をなくし、世界の恒久平和を求め、平和都市として、後世に引き継ぐことを基本的な方針として実施してきた。しかし、戦後50年が経過し、市民の7割以上が戦後生まれとなってきた状況を見ると、平和

民主新政クラブ

経費の節減について

Q 市長は、「健全財政の維持により、最小の経費で最大の効果をあげるよう、不断の努力を続けていく」とのことであるが、新年度予算において、どのように経費節減に取り組んだのか具体的に伺う。

A 経費の節減については、一部を除き、削減対象経費の枠を拡大し、概ね前年度マイナス10%の見積限額額を設定した。さらに、見積もられた精査をした結果、三十八億五千四百円もの削減を図った。また、各種の会議や地元説明会など事務事業を遂行するために必要な食糧費も、必要最小限度に留めた。このほか、調査旅費の見直しにより一億三千三百円、民間委託の推進に伴い三千万円などの削減を図った。



24時間巡回型ヘルパー

高齢者福祉について

Q 高齢者の在宅福祉について、新規事業を考えているのか。

A モデル事業として実施している24時間巡回型ヘルパーと配食サービスの実施について、どのような展開を考えているのか。

1日人間ドック助成事業について

Q 国民健康保険の加入者や成事業を新たに実施するが、その助成額と助成対象者および受診できる医療機関数とその地区別について伺う。

A 助成額については、1人1回の受診料三万六千円の7割二万五千二百円を助成し、年間二千人程度を助成対象者としている。



平和都市宣言記念碑

可決した意見書(要旨)

議員提出議案として13件の意見書を上程し、次の3件を可決しました。可決した意見書は、関係省庁などに提出しました。

遺伝子組み換え食品に関する意見書

遺伝子組み換え食品については、国民の不安を解消するため、必要な情報の公開を促進し、消費者に選択の権利を確保する必要があるが、組み換え食品のラベル表示については国は消極的である。よって、政府に対し、遺伝子組み換え食品の安全性の確認に努力するとともに、食品添加物と同様、遺伝子組み換え食品の表示の義務付けを行うよう強く要望する。

地方分権の推進に関する意見書

地方分権推進委員会は、機関委任事務を廃止するなどの第1次勧告を提出したが、今後の課題は山積している。本年前半に予定されている地方分権推進委員会の第2次勧告では、機関委任事務制度廃止後の事務分類は自治事務(仮称)を基本とすることや、指定都市は道府県と同様の包括的な事務・権限を持つよう見直すこと、地域の実情に応じて地方公共団体の自主的判斷が調しやすいものとするなどが実現されるよう強く要望する。

地震等自然災害に対する国民的保障制度の創設を求める意見書

これまで、自然災害に起因する個人被害については、その回復は自助努力が原則であった。しかし、阪神・淡路大震災による被災者の現状を直視するとき、個人の自助努力の重要性を強調するだけでは、資金確保の困難さなど多くの問題を抱えている被災者には、何の足しにもならない。このため、生活の基盤をなす住宅等建物の再建に必要な資金を保障する方策として、新たな共済制度や基金方式による国民的保障制度を創設することが急務となっている。よって、政府に対し、審議会を設置し、早急に自然災害に対する国民的保障制度を創設されるよう強く要望する。



# 委員会審査から

## 常任委員会

3月12日に開かれ、議案45件、請願2件、陳情3件を審査しました。  
その結果、44議案を可決し、1議案を否決したほか、請願・陳情は、全て継続審査となりました。

### 総務委員会

(所管)総務局、企画調整局、財政局、会計室、選挙管理委員会など  
一般会計補正予算、千葉市事務分掌条例の一部改正、土地の処分など議案9件を審査し、組織改正を予算編成と運動して行わず、条例の施行日を8月1日とする理由や土地の処分について(美浜区高洲3丁目)は、売却先企業が計画している事業内容などについて、質問がありました。

### 民生教育委員会

(所管)市民局、福祉局、教育委員会  
千葉市自転車等の放置防止に関する条例の一部改正や千葉市海洋公民館設置管理条例の廃止など議案22件、請願1件、陳情2件を審査し、千葉駅東口地下自転車駐車場の管理委託先と委託金額および利用者の利便性を考慮した出入口を設置できなかった理由などのほか、海洋公民館廃止後の跡地利用などについて、質問がありました。



仮設が決まった海洋公民館こしほ

**都市下水委員会**  
(所管)都市局、下水道局  
一般会計補正予算、稲毛海浜公園A導流堤改修工事に係る工事請負契約の議決事件の一部変更など議案9件、陳情1件を審査し、浜野駅自由通路整備事業費に関して、駅舎に設置するエスカレーターの費用をJRが支出するに至った経緯や市内の各駅舎へのエスカレーター設置に対する

**環境消防委員会**  
(所管)環境衛生局、清掃局、消防局、水道局  
千葉市保健所運営協議会条例の一部改正や、千葉市公園設置管理条例の一部改正など議案5件を審査し、保健所運営協議会の委員構成と機能面における改正前の協議会との相違点の有無や、任意設置でよいとされる地域保健法の改正の趣旨と継続して設置することへの見解、平和公園の総面積と造成費、整備総額から算出した平米当たりの原価と使用料改定時ごとの1区画当たりの原価などについて、質問がありました。



築地の造成が進められている平和公園



都市下水委員会審査風景

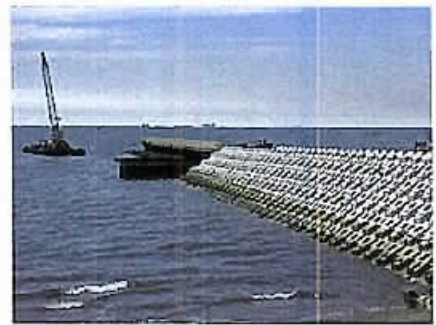
平成9年度一般会計および特別会計予算議案を審査するため、3月5日に、全議員で構成する予算審査特

- 委員** 長 清野 裕三  
副委員長 藤井 武徳  
第一分科会主査 片田 幸一  
同 副主査 磯貝 忠司  
第二分科会主査 柳田 清  
同 副主査 森 茂樹

## 予算審査特別委員会

2月18日に開かれ、生ごみの堆肥化と事業系ごみの5分別収集の徹底について調査しました。

## 廃棄物処理問題対策特別委員会



改修される稲毛海浜公園A導流堤

JRの基本的な考え方、A導流堤改修工事契約金額の増加分の使途などについて、質問がありました。

## お知らせコーナー

### 傍聴のご案内

平成9年第2回定例会は6月26日(木)に開会する予定です。  
本会議は、原則として公開していますので、どなたでも傍聴できます。  
傍聴は、本会議の当日、議会棟1階で受付けています。  
会議日程は6月23日(月)に決まる予定です。



議会傍聴風景

- 指摘要望事項**
- 平成9年度は、市債残高の増加等依然として厳しい財政環境に置かれていたことから、財源の確保や効率的な予算執行に努め、財政の健全性を維持すること。
  - 放置自転車については、関係機関等との連携のもと、撤去手法について十分検討するとともに、自転車駐車場の利用促進に向けた有効な対策を講じ、その解消に一層意を用いること。
  - ダイオキシンについては、市内の発生状況の調査を実施することにより、その実態把握に努め、関係局部間の連携を図り、早急に汚染防止対策を講じること。
  - 中央卸売市場については、青果部卸売業者の合併統合により産地からの集荷力を強化するとともに、

- 花き部を新設するなど、活力ある市場づくりに努力すること。
- 公園緑地については、多様な市民ニーズに対応した魅力あるものとするとともに、全体的なバランスにも配慮した整備に努めること。
  - 側溝の新設改良やふたかけを積極的に推進するとともに、歩道の段差切り下げについても、関係局部と十分連携を図り、効率的かつ早急な整備に努めること。
  - 市民の生命・財産を守るため、消防力の一層の強化に努めるとともに、迅速に対応できる消防指令体制の充実を図ること。また、消防署・所の整備に当たっては、職員の福利厚生面にも十分意を用いること。
  - 学校における大規模改修に当たっては、教育環境改善のため積極的に取り組むことはもとより、震災時等の避難拠点施設となることを勘案し十分な対策を講じること。

## 総括質問

- 主な質問項目**
- 電波障害地域の対策と都市型CA-TVの普及について
  - 勤労手当の一律支給について
  - 地方分権と行政改革について
  - 障害者福祉施策について
  - 防災対策について

## 後編 編集 後記

表紙の市民オペラは、政令指定都市移行記念事業の一環として始められたもので、3回目の上演となります。今回は、モーツァルトの代表作である「フィガロの結婚」をテーマとして、はじめて原語のイタリア語で上演されました。

指揮者には、ドイツ出身のフォルカ・レニツケ氏を招きましたが、何よりも素晴らしいのは、千葉市民がアマチュアの域を脱した本格的なオペラを公演しており、観客も美しい歌声や、舞台演出に酔いしれていました。

今回は第1回定例会の様子を掲載しましたが、今定例会で、平成9年度予算が五、九八七億円と決定されました。

私たちは、この予算が市民生活の一層の充実に有効活用されるよう、議会活動を通じて頑張っていきたいと思っています。

「ちば市議会だより」発行委員会

問い合わせ先 議会事務局調査課  
☎(043) 245・5472



千葉市の並木道

緑区おゆみ野